

伊豆大島における地磁気全磁力変化*

Variation of Geomagnetic Total Intensity at Izu Oshima Volcano

気象庁地磁気観測所

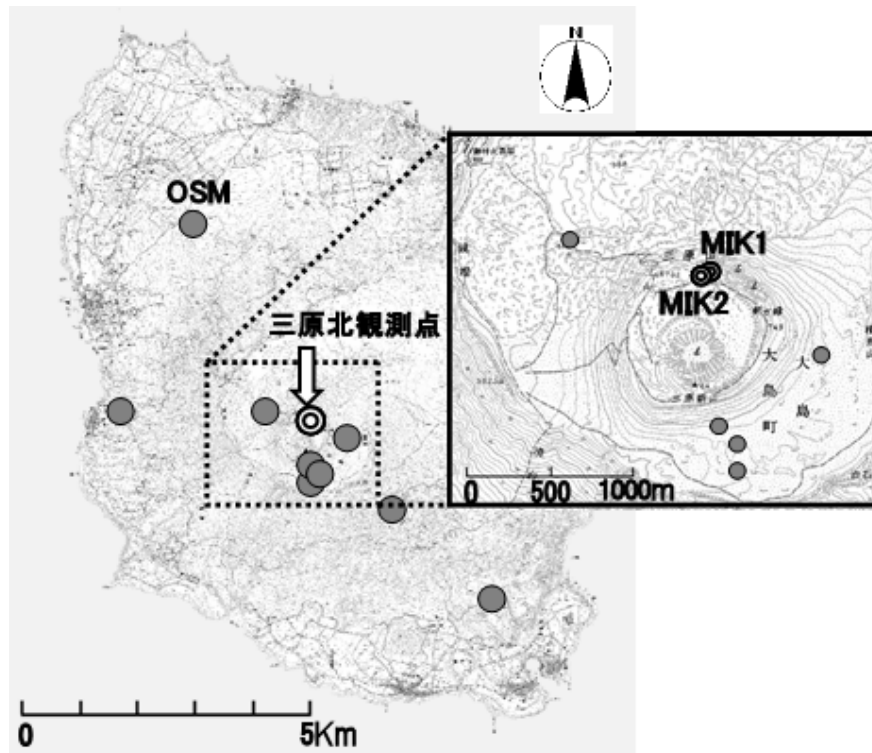
Kakioka Magnetic Observatory, JMA

伊豆大島における2008年8月までの地磁気全磁力変化について報告する。

地磁気観測所では、当該期間に三原山火口北側の2点(MIK1、MIK2)において全磁力連続観測を実施している(第1図)。

2007年4月から2008年8月までの期間について、連続観測点MIK1、MIK2で得られた全磁力日平均値と、参照点として利用したOSM(東京大学地震研究所:北緯34度45.94分、東経139度22.37分、火口の北西約4.8km)の全磁力日平均値との差を第2図に示す。

MIK2にみられる長く大きな変動は年周変化(約20nT)と考える。MIK1にも、時々原因不明の短期の変動がみられるが、長周期の変化は年周変化(約20nT)と考えられる。2008年4月から2008年8月の間に、火山活動に伴うと見られる顕著な地磁気全磁力変化は検出されていない。

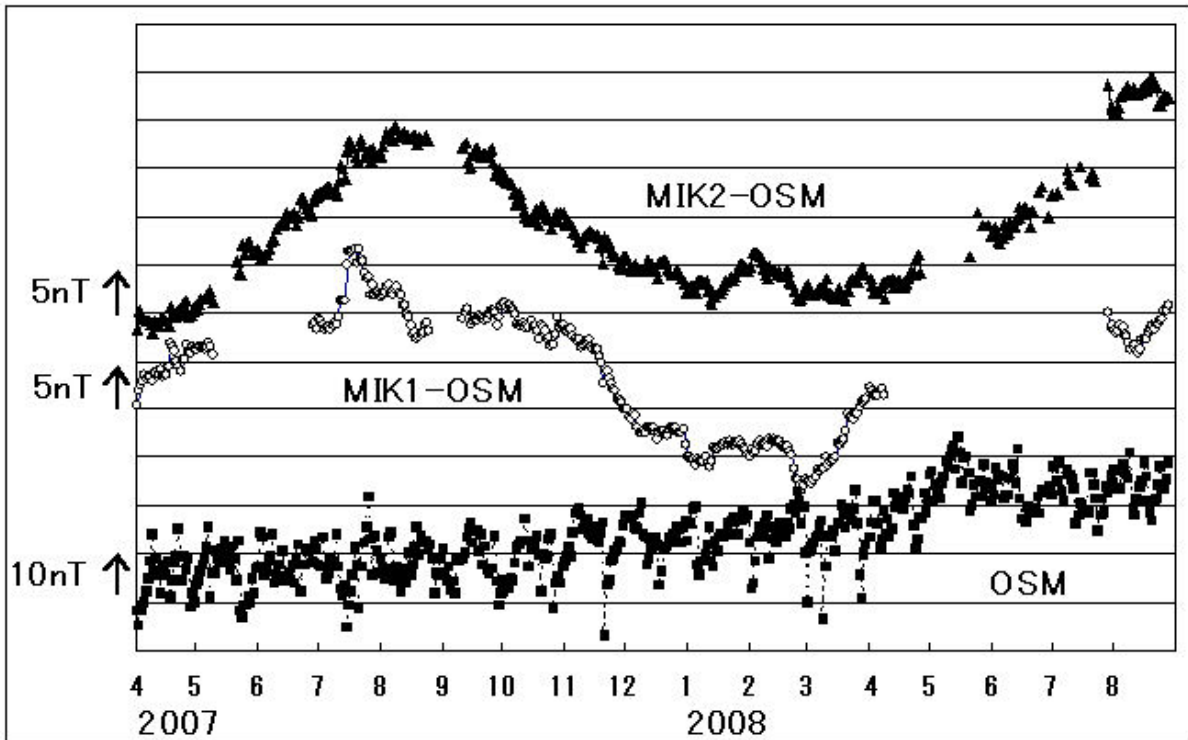


第1図 全磁力観測点配置図(◎:地磁気観測所、●:東京大学地震研究所)

この地図の作成に当たっては、国土地理院発行の「数値地図25000(地図画像)」を使用した。

Fig.1 Location map of geomagnetic total intensity observation stations. Geomagnetic Observatory stations are marked by ◎. Stations operated by Earthquake Research Institute(●) are also shown.

*2009年8月24日受付



第2図 2007年4月から2008年4月までの連続観測点MIK1、MIK2における全磁力日平均値と参照点OSMの日平均値との差

Fig.2 Daily mean differences of the geomagnetic total intensities at the continuous stations MIK1(○)and MIK2(▲) from the reference station OSM from April 2007 to April 2008. The total intensity at OSM(■) is also shown at the bottom.